

# 上士幌町開町80周年記念事業

## 未来づくりリフォーラム 開催報告

3月3日(土)、開町80周年記念事業「未来づくりフォーラム」(町・町教育委員会主催)が生涯学習センターで開催されました。食環境ジャーナリストの金丸弘美氏に

よる基調講演に続いて、滑川里香氏による徳島県上勝町の実践報告が行われ、参加した一般町民や町職員らが、全国の先進事例について学びました。

### ◆基調講演

「まちを笑顔に！一人ひとりが輝く未来づくりへ」  
食環境ジャーナリスト 金丸 弘美 氏



金丸氏は、全国各地の食による町おこしの事例を報告しました。  
里芋の産地で知られる岡山県奈義

町では、地域の女性らが、それまで廃棄されていた親芋を使ってお好み焼きを作り、人気を博したというエピソードを紹介しました。また合宿研修によって、先進地のノウハウを現地で吸収する取り組みを紹介し、現場をじかに知ることの重要性を説きました。

最後に金丸氏は「ここにも眠っている人や資源があるはず。町民の力で元のいいものを出して、ぜひみなさんも地域を元気にしてください。」と締めくくりました。

### ◆実践報告

#### 「地域活性化のヒント」

株式会社いろどり 滑川 里香 氏



滑川氏は「葉っぱビジネスの町」として知られる、徳島県上勝町の事例を紹介しました。

日本料理の「つまもの」として需要がある季節の葉や花を採取して出荷する葉っぱビジネスは、上勝町の4戸の農家でスタートし、現在は計200戸で年商2億6千万円を売り上げています。  
滑川氏は、小規模な高齢農家がインターネットやFAXを駆使し、全国シェア7割のビジネスに成長させた経緯を紹介しながら「居場所と出番と役割があれば、過疎の町でも人はいきいきと暮らすことができます。」と語りました。

### ◆パネルディスカッション

#### 「まちや町民の役割」

〈パネリスト〉

- 金丸 弘美 氏 滑川 里香 氏
- 上士幌町長 竹中 貢
- 〈コーディネーター〉
- 上士幌町まちづくりアドバイザー 小山 忠弘 氏

パネルディスカッションは、パネリストに加わった竹中貢上士幌町長がこれまでの当町の取り組みについて発表し、それに対して2講師が発言をする形で行われました。

この中で金丸氏は、地域ブランドをいかに発信するかについて触れ、「まずは自分たちの足元で絶対いいと思うものを作って、地元で評判を得ることが大事」と強調しました。また滑川氏も「温泉や牧場などの素晴らしい資源にストーリーを付与し、それを面白おかしく発信してみよう」と提案しました。

### ～フォーラムをふりかえって～

#### まちづくりアドバイザー・小山忠弘さんからのメッセージ

今回の未来づくりフォーラムは、全国のまちづくりの優れた事例に詳しい二人の講師が来て、これからの上士幌の元気なまちづくりにとても参考になる内容でしたが、町民のみなさんの参加が少なかったのがとても残念です。まちづくりは、役場が何をしてくれたかではなく、自分がまちのために何をしたかということです。上士幌のまちが存続するためには、今のうちに町民と行政が一緒になって知恵を出し合っていくことが必要です。



【小山氏プロフィール】  
岩見沢市教育委員会教育長、札幌国際大学学長などを経て、平成22年度より上士幌町まちづくりアドバイザー。

## 2・3月 まちのわだい



「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。  
企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ☉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

# 卒業式



▲上士幌中学校（3月15日）



▲上士幌高校（3月1日）

## 2月17日

「早ね早あき朝ごはん、テレビを止めて外遊び」講演会



生涯学習センターにて開催され、講師の小澤治夫東海大学教授は、「生活習慣の乱れは、活力、学力、体力の低下を招いている。それは低体温を招いており、体が起きていないため、意欲がわかない状態が続いている。」と指摘し、「早寝、早起き、朝ごはんによる生活習慣の改善を家庭で行い、授業に集中できるように学校に送り出してほしい。」と話されました。

## 3月4日

ぬかびら源泉郷スキー場で「子ども祭り」が開催されました



ぬかびら源泉郷スキー場「子ども祭り」（主

催・ぬかびら源泉郷冬季観光客誘致促進協議会）が、ぬかびら源泉郷スキー場で開催されました。

この日はスキー用品のワンコインレンタルやキッズ大抽選会など子ども向けのサービスが催しが実施され、大勢の家族客で賑わいました。そのほか会場ではエアキッドバルーンくんや「ほろんちゃん」の着ぐるみが登場し、人気を博していました。

## 3月5日

上士幌町教育委員会が教育実践表彰を受賞しました



上士幌町教育委員会（島口重一教育委員長）は、平成23年度十勝管内教育実践表彰を受賞しました。

今回の受賞では「自然環境教育の推進」「中高連携教育の推進」「かみしほろの健やかな育ちの制定と推進」の3つの取り組みが評価されました。

## 3月10日

第42回町民スキー大回転競技会

第42回町民スキー大回転競技会がぬかびら源泉郷スキー場で開催され、小学生から一般男子までの計19名が、白熱の競技を繰

り広げました。各部門の優勝者は次のとおり。〈小学男子低学年〉中田大雅 〈小学女子低学年〉牧野あみ 〈小学男子高学年〉杉本航 〈小学女子高学年〉濱岡凧 〈中学男子〉杉本 創 〈中学女子〉阿部愛佳 〈一般男子〉阿部宏一郎（敬称略）



## 3月12日

上士幌消防団が消防団等地域活動表彰を受賞しました



北十勝消防事務組合上士幌消防団（鈴木近彦団長）は、消防庁長官が年1回表彰している「消防団等地域活動表彰」を受賞し、このほど竹中町長より伝達

されました。

上士幌消防団は、地道な火災予防啓発活動や、新たに入団した女性消防団員の取り組みなどが評価されました。

## 地域を変えてく新しいカ 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: レファレンス(reference)



記: 図書館活動推進員 時田 恵里子

いよいよ新年度ですね。新しい環境に期待と不安で一杯の方も多と思います。図書館はそんなみなさんの味方です。わからないことや知りたいことなどをご相談いただければ、できる限りお手伝いいたします。これも図書館の大切な業務=レファレンスです。

2月に小学生高学年を対象にした「としょかん体験の日」が実施されたのですが、その時にも事典・年表・統計などを利用して調べ物をするレファレンスのクイズが登場しました。これはただ答えを出すだけではなく、何を使って調べたかまでが回答となります。インターネットで何でも調べられる現代ですが、文献資料を使いこなす技術を身につけてもらうことがこのクイズの狙いです。

私もまだまだわからない事だらけなのですが、周囲の方々や図書館の業務をバックアップしてくれる道立図書館などの助けを借りつつ、今後みなさんのお役に立ちたいと思います。



▲上士幌小学校での読み聞かせ

# まちのわだい

## 上士幌消防女性消防団員が 上級救命講習を受講しました



女性消防団員が上士幌市街地初の上級救命講習会を受講し、全員に修了証が交付されました。

講習は8時間のカリキュラムに沿って進められ、成人・小児・乳児に対する心肺蘇生法、AEDの取扱方法、三角巾を用いた被服、止血、骨折時の固定方法、気道異物除去、搬送法等の手技を習得しました。

今後も、消防団員として、町民の安心安全のために活動していきます。

## 上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高

平成23年度高文連十勝支部新聞専門部の講習会が2回行なわれ、のべ113人の新聞局員が十勝管内から上士幌に集まりました。忙しい中、私たち新聞局の取材活動に協力してくれた各事業所のみなさま、ありがとうございました。

取材を通して上士幌のことや糠平のことをよく知ることができ、また一つ知識を増やして新聞局員としてレベルアップすることが出来たような気がします。今まではあまり外に出ることのなかった上高新聞局ですが、講習会を終え、これからはどんどん上士幌町のことを発信していきたいという気持ちになりました。

各校がレイアウトや写真など、今まで学んできた技術をあわせて作成した21枚の新聞。まだまだ足りない部分もありましたが、この貴重な経験を生かし、より良い新聞を作れるよう、十勝支部の一員として頑張っていきたいと思います。一年間本当にお世話になりました。これからも新聞局を応援していただけたらと思います。

### ◆取材協力 (敬称略)

十勝かみしほろん市場 / 上士幌高校熱気球部 / 十勝養蜂園 / 榎西原農場 / もちつもたれつ会 / 榎十勝工芸社 / ㈱ノベルズ / 工房 木楽々 / NPOひがし大雪自然ガイドセンター / 東大雪博物館 / 元祖 湯元館 / 東大雪ぬかびらユースホテル / 山の旅籠 山湖荘



▲ぬかびらの自然の中、新聞局員に説明する河田充さん



▲作成した新聞一枚一枚を真剣に講評する田口耕平先生 (柏葉高校新聞局顧問)

◀笑顔で新聞局員に説明するもちつもたれつ会の北上幸子さん

取材を通してレベルアップ

文責 佐藤一翔

# 町民(文)芸

## 川柳

ネコヤナギ早く芽を出せ花になれ  
 春近し固い新芽に雨が降る  
 春近し自転車の手入れに胸躍る  
 母さんに甘えて一緒にご飯食べ  
 旧友と再開懐かし感激し  
 春彼岸お墓参りで手を合わせ  
 春は名のみ風は冷たい過疎の街  
 見上げれば太陽おなじと孫立ちね  
 寿命まで動く臓器は疲れ果て

## 短歌

介護する父も母もすでに亡く気付けばわれらが老後をむかふ  
 バジリコの清しき花に触れたれば匂ひの立ちてしばしなごめり  
 病院の壁にかかぐ絵画のめがね橋見つつ冬にて浮かぶと聞きて  
 三月のあたらし雪は降りつもる犬の足跡か黙々とつづく

## 平成24年2月末現在の人口

男 2,493人(先月比-6)  
 女 2,643人(先月比-3)  
 計 5,136人(先月比-9)  
 世帯数 2,333世帯(先月比-1)

## 寄付

▶ 2区の野々村幸子さんは、3月9日に福祉の振興資金として金10万円を寄付されました。

### ふるさと納税(H24/2/9~H24/3/9)

- ▶ 水町 宏さん(東京都、金1万円)
- ▶ 空田誠介さん(愛知県、金2万円)
- ▶ 横畑 淳さん(大阪府、金1万円)
- ▶ 三谷康生さん(兵庫県、金1万円)
- ▶ 鈴木貴博さん(幕別町、金1万円)
- ▶ 佐藤 誠さん(千葉県、金1万円)

## 上士幌町民憲章

- 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

白坂 桜	齊 米 鈴	米 小 薮		
石田	藤 森 木	森 池 根	高	石
	い 花 浩 真	博 由	木	川
馨 子	絵 一 弓 豊	樹 希 子	慶	裕
			子	子



紙4月から、また新たなシーズンが始まります。お仕事している方、新学期が始まる児童・生徒のみなさん同様、我々広報担当者も新たな気持ちで町民のみなさんに分かりやすい情報を提供できるよう精進したいと思います。(がんばります・・・A)

紙あれから1年。テレビから流れる当時の映像を家族で見っていました。すべてが理解できていない娘もその惨劇に想うところがあったようで、私の膝の上でテレビを直視していました。紙少なくて1年に一度は、災害に対応すべき家族の行動を確認し合いたいと思います。(もうすぐ春ですね。元気いっぱい。の春にしたいです・・・K)

広報.....

**がみしほろ** 5月号は4月25日(水)発行予定